

沿革小史

京都市立周山中学校

昭和	年	月	
	22	5	各小学校に新制中学校併設
	6		中学校統合協議会が発足
24	4		北桑田郡南部 7ヶ町村組合立周山中学校設立（開校式・校歌・校章制定） 初代校長 井上 経二
26	10		体育館（現格技場）竣工
29	11		二代校長 海老瀬清三郎
30	5		6ヶ町村が合併して京北町が発足 京北町立周山中学校となる。
31	3		木造本館が完成・校旗制定
37	1		三代校長 福井 正義
	4		生徒数急増し 815 名、職員数 43 名となる。
38	10		特殊学級設置
39	3		四代校長 奥村 勉
40	3		五代校長 稲浪 良夫
42	4		六代校長 米津 健市
43	10		二十周年記念式典挙行
45	4		七代校長 卵瀬 喜代資
46	2		生徒手帳を編集
48	9		新校舎竣工
51	4		八代校長 草木 正苗
53	4		九代校長 富永 輝雄
	11		三十周年記念式典挙行
55	4		十代校長 藤野 薫
57	5		本館・体育館総合竣工式、旧体育館は格技場に認定
58	4		十一代校長 八木 崇
60	4		十二代校長 藤野 真澄
61	4		昭和 61・62 年度府教委・京北町教委 小・中学校教育実践推進校
62	4		十三代校長 濑崎 恒治
	10		グラウンド改修完成
63	11		四十周年記念式典挙行
平成	年	月	
	元	4	十四代校長 志賀 博
	3		平成元・2・3 年度文部省道德教育推進校指定
	4		十五代校長 井川 悟
	4		平成 4・5・6 年度府教委「教育課程研究モデル校」指定
	9		学校週 5 日制の実施(毎月第 2 週土曜日が休業日)
	6		十六代校長 中野 順藏
	7		学校週 5 日制の実施(毎月第 2・4 週土曜日が休業日)
	1		福祉協力校として長年のボランティア活動に厚生大臣表彰受賞
	8		新 1 年生より新しい制服（標準服：男女共ブレザータイプ）導入
	9		特別教室棟竣工
	2		十七代校長 長野 光孝
	4		五十周年記念式典挙行
10	10		
11	4		平成 11・12 年度府教委「総合的な学習の時間」研究指定
12	1		教育実践パイロット校「総合的な学習の時間」研究発表会
13	4		平成 13・14・15 年度文科省「次世代 IT を活用した未来型教育研究開発事業」実施校指定
14	4		十八代校長 下田 敏晴
	5		平成 14・15・16 年度文科省「学力向上フロンティア校」指定
15	1		平成 14・15 年度府教委「京都夢・未来校」研究指定
	4		新グラウンド竣工式
	1		立志式の実施
	4		二期制の導入・学校評価試行
	8		各教室クーラー設置完了
	2		「京都夢・未来校」の研究発表
16	2		グラウンドへの道を整備
17	3		第二グラウンドのテニスコート整備
17	4		京北町と京都市が合併 京都市立周山中学校となる。 初代校長 寺嶋 丈雄
18	4		肢体育成学級開設、風力発電とサブグラウンド等フェンスを設置
21	4		二代校長 安田 和彦
23	1		京北小中一貫教育研究報告会を開催。
24	4		三代校長 安藤 克彦
	4		文科省「コミュニティースクール熟議と協働の充実に係る研究」指定
25	12		京北トンネル開通
26	11		女子更衣室設置
27	7		武道場解体撤去

	28	4	四代校長 新井 保
	29	12	小中一貫校建設工事はじまる。ふれあいセンター解体撤去。
	30	1	特別教室棟解体撤去
	31	1	新校舎棟建設開始